

クラッチカバーは、その構造から大きく8つのタイプに分けられます。

LB レバー（ポストタイプ）



レバータイプでプレッシャープレートとカバーが（ストラッププレートを介さず）直接噛み合い、固定されているタイプです。

DT ダイヤフラム（タグタイプ）



ダイヤフラムタイプでプレッシャープレートとカバーがストラッププレートを介して固定されており、且つダイヤフラムの外周部分をカバーが抱え込んでいるタイプです。

LS レバー（ストラップタイプ）



レバータイプでプレッシャープレートとカバーがストラッププレートを介して固定されているタイプです。

PL プル



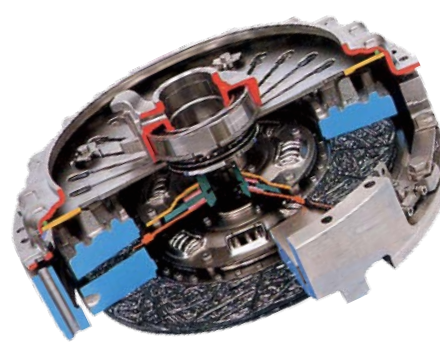
ダイヤフラムの中央にリリースベアリングをはめ込みリリースフォークでリリースベアリングを引っ張るタイプです。

DB ダイヤフラム（ポストタイプ）



ダイヤフラムタイプで、プレッシャープレートとカバーが（ストラッププレートを介さず）直接噛み合い、固定されているタイプです。

TW ツイン



プレッシャープレートに似た中間プレートを挟み、フライホイール側とトランスミッション側に別々のクラッチディスクを使用するタイプです。

DS ダイヤフラム（ストラップタイプ）



ダイヤフラムタイプで、プレッシャープレートとカバーがストラッププレートを介して固定されており、且つダイヤフラムとカバーもピンで固定されているタイプです。

DU ユニティタイプ



構造はDTと同じですが、部品の共通化を進めたものです。見た目はDTよりダイヤフラムのつめの本数が少ないのが特徴です。